



『 老化と眼 』

老いによって起こりやすくなる病気は色々ありますが、眼科では特に多く見受けられます。例を挙げると、老眼（老視）・白内障・緑内障や加齢黄斑変性などです。

老眼・白内障にいたっては、順調に年を重ねると、誰でも必ずつきあうことになる病気です。病気というより老化というのが適しているかもしれませんが、皮膚のしわ・たるみは我慢できても、見えなくなるとは困りますので、治療を要する病気とも言えるわけです。

幸いに白内障は手術ですっきり治せるようになり、老眼については、眼鏡・コンタクトレンズ・眼内レンズ等、誰でも合うわけではないものの、遠近両用が選択できるようになりました。

その他、緑内障では進行予防の点眼薬が次々登場し、加齢黄斑変性は注射等で治療効果が認められるようになっていきます。

見えにくいのは年のせいだとあきらめて、せっかくのアンチエイジング（抗加齢）の機会を逃してしまうのは残念だと思いませんか？

目の衰えを感じたら、お気軽に眼科の受診をお勧めします。



鹿児島厚生連病院
眼科 医 長
田 中 最 高